

ねん 年
くみ 組
ばん 番
なまえ 名前

1. 今日のねらい

- ① 超高齢社会において、日常生活を送るうえで意識すべきことを考える。
- ② リスクから自分の身を守る手段として、自助・共助・公助について理解する。
- ③ 「自助」として、自分で備える手段の預貯金と民間保険の特徴を理解する。

2. 自分の身を守るために

①

自分で備える

預貯金

民間保険

②

共に備える
健康保険や年金などの「社会保険」

③

国などが備えてくれる
生活に困っている人などを支援

社会保障制度

3. 「社会保障制度」とは【共助・公助】

社会保障制度

社会
保険

病気・老後・介護・失業などの場合に国などが一定の給付を行う制度
(公的医療保険、公的年金保険、公的介護保険等)

社会
福祉

障がい者や母子・父子家庭などに対して公的な支援を行う制度
(児童福祉、高齢者福祉等)

公的
扶助

生活に困窮する国民に対して最低限の生活を保障し、自立を助けようとする制度(生活保護等)

公衆
衛生

国民が健康に生活できるよう様々な事項についての予防、衛生のための制度(予防接種等)

4. 自分で備える手段の「預貯金」と「民間保険」 【自助】

よちよきん 預貯金	みんかんほけん 民間保険
<p>特徴 <input type="text"/> 目的のために貯める</p>	<p>特徴 <input type="text"/> のリスクに備える</p>

・「預貯金」と「民間保険」のメリット・デメリットについてまとめてみよう。

せいめいほけん しゅるい 〈生命保険の種類〉	目的と保障の内容 もくてき ほしやう ないやう	種類 しゅるい
<p>「死亡」の保障</p>	<input type="text"/> すると、遺族の生活費等として お金(保険金)を受け取れる かね ほけんきん う と	ていきほけん ようろうほけん 定期保険・養老保険 終身保険 しゅうしんほけん など
<p>「病気・ケガ」の保障</p>	<input type="text"/> により入院や手術をすると お金(給付金)を受け取れる かね きゅうきん う と	いりやうほけん 医療保険 など
<p>「老後」の保障</p>	あらかじめ決められた年齢になると 決められた期間お金(年金)を受け取れる き きかん かね ねんきん う と	こじん ねんきんほけん 〈個人〉年金保険 など
<p>「介護」の保障</p>	<input type="text"/> 状態になると お金(給付金)を受け取れる かね きゅうきん う と	かいごほけん 介護保険 など

5. まとめ

- で生きていくためには に気づくことが大切。
- リスクから自分の身を守る手段として共助・公助といった だけでなく、 や といった自助もある。
- 社会保障制度で する部分を、自助である預貯金や民間保険を利用して準備することが大切。

・今日学んだことや気づいたことについて、書いてみよう。
